

「学校教育目標」

「自立」「共生」そして「挑戦」



人と人との関わりの中で、自ら学び、自ら成長しようとする態度や行動を通じ、自信をもって、未来を切り拓いていく生徒を育てます。

豊かな心

- ・より良く生きようとする心を伸ばす
- ・自分を認め、他者を尊重する心を育てる
⇒道徳授業や人権教育をはじめとする
全ての教育活動において

健やかな体

- ・自己の健康を判断し、運動の楽しさを生活の中に織り込みながら、生涯、運動に親しむ資質や能力を育む
⇒保健体育科5分間走、体育的行事の充実など
- ・食育の充実（中学校給食を活用して）

確かな学力（資質・能力の育成）

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①自己を理解し、自分の良さを発揮できる
- ②他者を理解し、共に高め合える
- ③多様性を認め、信頼関係を築ける
- ④自ら目標を定め、達成に向けて行動できる

何が身についたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①自己を振り返って、自分の良さを活かそうとしている
- ②相手の話をよく聞き、共に学び合おうとしている
- ③様々な考え方や価値観を自分の中に受け入れて行動しようとしている
- ④目標に向けた行動を見直ししながら、見通しをもって取り組もうとしている

生徒の実態

- ・明るく素直で素朴
- ・元気で活動的
- ・他律的で依存心が高い
- ・粘り強さに欠ける
- ・社会性に乏しく幼い

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・学習環境のユニバーサルデザイン化
- ・教科相談・教育相談などでの生徒理解
- ・特別支援コーディネーター、SCとの連携、活用
- ・職員間で個々の情報を共有化、協働支援

目指す生徒の姿

- ・主体的に考え、意欲的に学ぶ生徒 【知】
- ・自分を大切に、人を思いやる生徒 【徳】
- ・自ら鍛え、心身ともにたくましく生きる生徒 【体】
- ・自然、地域、社会を愛し、より良くするために他者と協働できる生徒 【公】
- ・進取の精神をもち、夢や目標、新たな価値に挑戦できる生徒 【関】

何を学ぶか

○教育課程の編成

〈自分の課題を自覚し、解決に自ら取り組む〉

- ・基礎学力を身につける
- ・自他を大切にしたい人間関係をつくる
- ・目標に向けて粘り強く行動する

どのように学ぶか

○教育課程の実施

〈期初の課題の自覚と、期末の成果の見取り〉

- ・スモールステップを意識した課題の提示
- ・合意形成の方法（伝える、聞く、認める）の提示
- ・「目標に向けて取り組み、振り返る」学びのプロセスを重視

実施するため何が必要か

指導体制、家庭、地域との連携・協力

学校

- 振り返りレポートを活用した生徒理解
- 小中一貫ブロックとの課題と目標の共有、連携
- 家庭、地域、外部機関との情報共有・協力

○ICT環境の整備と情報モラル教育の充実

家庭

- 個人面談での課題と目標の共有
- 授業参観、懇談会などを通じた情報共有と協力支援
- 家庭学習の習慣化
- PTA活動への参加の促進

地域

- 学校運営協議会を通じた情報共有・協力支援
- PTAとの連携・協力・支援
- 地域行事への参加による生徒の自己有用感の向上
- 学び場事業への地域人材の活用